

6月23日(金) 長野日報掲載



集大成の自走ロボット

駒ヶ根情報技術科3年生が大会

駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)の情報技術科3年生は22日、各自が製作した自走ロボットの速さを競う「ロボット大会」を同校で開いた。1年生時から授業で学んできた技術を生かし、組み立てたロボットの性能を披露する大会として、生徒自ら運営した。

大会はコース上の白線をセンサーが読み取りながら進む「ライントレースロボット」で競った。3年生36人は1年生時にマイコンの基板作り、2年生時に車体の設計・製作、3年生時にマイコンのプログラミングを学んできた。

↑
駒ヶ根工業高で開かれた
情報技術科3年生のロボット大会

会場には保護者や2年生も駆け付け、熱戦を見守った。

タイムレースの予選と、上位8台による決勝トーナメントを実施。車体デザインやギアの組み合わせ、マイコンのプログラム内容などは各台それぞれで、快調に前進するロボットがある一方、コースアウトや逆走するロボットが続出するなど、手に汗握る展開を繰り広げた。

(布袋宏之)